

斗進

発行所
建交労田川支部



2023年
2月 1日
NO. 911

組合が挑戦する新たな闘いについて（案）

2023・2月

- 1、地域の労働者のよりどころとして事務所の維持管理
*経費の節減にこれまで以上に努力する
- 2、5カ年計画で支部の再建めざす
*〇〇人規模の支部の組織建設に取り組み
*執行体制の再建。
- 3、組合員拡大で正常な財政運営の確立へ。
- 4、組合建設の当面する対象目標
①ソーシャルで働く高齢者の要求闘争を軸に広く働く高齢者
*高齢者が「生涯現役」などと低賃金不安定雇用で駆り出されている、まともな雇用を求める若者と連帯してのソーシャルの拡大強化をめざす。
②ケアー（介護）労働者の賃上げ労働条件の引き上げ、制度改悪のストツプ。
③地域における若年労働者の組織と労働者教育
*労働講座などの取り組み（全労連加入田川地域労働組合協議会を活かす）
④障害者の労働環境改善の取り組み
*最低賃金1500円の取り組み
はこの分野でも必要
- 5、公的就労事業制度の意義
①旧失対法の廃止と同時期に人材派遣法の強化が行われてきた。
②不安定雇用の増大で低賃金、経済成長のストツプ
③最低賃金闘争と失対賃金の闘い
- 6、連帯する対象
*トライアル労働者
*障害者関係・福祉労
*福建労
*年金者組合
*公務労働者・ハローワーク
*中小零細業者・民商
*高齢者事業団・労協



昔の面影なし香春岳
田川市夏吉糸飛橋付近

建交労2023年春闘方針のポイント

賃金闘争の推進で物価高騰を乗り越えよう いまこそ建交労の総力を発揮しよう

— 仲間の要求の結集が闘う力の根源だ —

最賃アップによる委託単価の改善に伴う就労日数や就労人員削減など、高齢者の大切な職場の就労条件の切り下げは許されません。私達は市民や町民が公園や施設を快適に利用でき、過ごせる場所にと長い間頑張ってきています。

異常な物価上昇のなか年金は切り下げられ、高齢者の医療・介護費は引き上げられるなど働かなければ生きていけません。

全国の組合の仲間と力を合わせ2023年春闘頑張り抜きます。

福智町委託単価の推移

	福岡最賃 (10月)	アップ額	アップ率	委託ベース賃金 (4月)	10月検討	現場賃金 (4月)	10月
2014							
2015	743	16	2.20%	800	なし	800	800
2016	765	22	2.96%	800	なし	800	800
2017	789	24	3.14%	800	なし	800	800
2018	814	25	3.17%	800	なし	800	814
2019	841	27	3.32%	820	なし	814	841
2020	842	1	0.12%	850	なし	842	842
2021	870	28	3.32%	850	878	850	875
2022	900	30	3.45%	878	908	875	905
2023	?			908		905	
#####							
?	1500						

委託ベース賃金

田川市は2021年4月から850円

10月から878円

2022年10月から908円

- 7、行政問題
 - ① 団地の住宅家賃改定（引上げ）問題・汚水処理料（近隣市町村と同程度の料金への見直し（引き上げ？））
 - ② 汚水処理料 水道使用量とダブルで取られる。引き下げ運動、団地だけではなく一般市民にもかかわる問題としてとりあげる。
- 8、
 - ③ バイオマス発電建設反対の住民運動の取り組み
 - ① 直面する課題
 - ② 春闘・組織拡大
 - ② 反戦・平和の闘い（「失業と貧乏と戦争反対」の戦後一貫した闘いをしてきた建交労の出番にしていく―「新しい戦前」にストアップを！
 - ③ 統一地方選挙勝利